

政策イノベーション（議論たたき台）

I. 技術シーズの発掘・創出

1. 多くの研究開発が行われている環境エネルギー分野では、技術シーズを効果的に発掘し効果的な技術開発を行うため、過去の研究、プロジェクトから技術的ボトルネックを分析し、技術課題を設定することが重要だが、実施する体制をどのように構築していくべきか。
2. 各省連携の下、基礎研究から実用化までの一貫した研究開発やその成果の円滑な実用化に向けた体制構築が必要ではないか。
3. 長期間を要しリスクの高い革新技术の研究開発に取り組む研究者の層を維持・強化するためにはどのような方策が望ましいか。

II. 官民のリソースの効果的な投入

1. 革新的なテーマに失敗を恐れず挑戦することを可能とする柔軟なプロジェクトマネジメントのあり方をどのように考えるか。
2. 排出削減ポテンシャルの高い革新的技術にリソースが適切に供給されるためには、国内外のプロジェクトについて統一的な手法を用いて評価するとともに、研究者のみならず市場関係者にも分かりやすい形で情報発信する機能が必要ではないか。TCFDなど企業の取組を情報開示する枠組みとの連携をどのように考えるか。
3. RD20による取組等、国内外の叡智を結集する国際共同研究をより効果的に促進する上で、研究拠点のあり方をどのように考えるか。

III. 社会実装につなげる仕掛け

1. 再生可能エネルギー等の分野では、新たなイノベーションの担い手として研究開発型のベンチャー企業も期待されるが、こうした取組の拡大をどのように支援していくべきか。
2. 技術の実際の事業化に向けて、大学、研究機関と事業者をつなげる仕組みをどのように構築すべきか。例えば、東京湾岸には主要な大学、研究機関、排出量の多い事業所等が多数立地しているが、こうした集積を活用することは考えられないか。
3. 海外展開支援のあり方をどう考えるか。例えば、我が国が提唱した、低炭素技術の普及と政策・制度構築を官民協働で進めるための新たな枠組、CEFIA（Cleaner Energy Future Initiative for ASEAN）の活用方針。

IV. その他